

福山



藤井ひとみさん

お墓は、代々継承し供養していきます。例えば長男がお墓を継承し、次男は新家として新たにお墓を建てるといった方法です。しかし最近は一入っ子だったり、姉妹だけだったり、家を継ぐ者がいないという理由から、お墓の継承が難しいといったことも多々見られます。

暮らし彩る石のはなし
暮石日和 Vol.172
新しい先祖供養の形

そこで、こうしたお墓継承の悩みを解決する新しい先祖供養の考え方が出てきています。お墓の継承を「家族」というくくりで行っていた従来の考え方に対し、「親族」というくくりで継承していただくという考え方です。家族でなくても、先祖にかわりのある「親族」が、一つのお墓で先祖をおまつりする方法です。

近年、お墓の継承問題が、取りざたされていますが、先祖を供養する方法を、決まりやしきたりでくるより、新しい目線で、よりよく供養し続けることが大切なのではないでしょうか。

この記事の問い合わせ
☎0120(59)548
墓石・墓苑の彩聖(新渥
町6-15-22)

※このコラムは、毎月1回
墓石や墓づくりについて彩
聖・お墓ディレクター藤井
ひとみさんに伺います。